第２号様式（公開）

ヨコハマ市民まち普請事業

第 2 次 整 備 提 案 書

※　記入上の注意

●2号様式はページを増やさず、必ず3ページ以内でまとめてください。

●2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

1　整備提案の概要について

整備提案名	**美晴台内道路の愛称入り案内板と複合コミセン整備事業**
提案グループ名	**美晴台の道に愛称をつける会**
整備場所の所在地 （町名又は丁目まで記入）	**横浜市 港南区 上永谷 3丁目**
施設整備の概要	**美晴台の道に愛称をつけ、自治会掲示板に愛称入りﾏｯﾌﾟやｿｰﾗｰ照明、電柱などにｻｲﾝを取付け、安心安全、防災防犯の快適なまちづくりを目指す。** ①美晴台（約1万㎡、700世帯）のすべての道（南北5本、東西3本、周辺3本のほか各細街路）と主要な坂に、自治会会員からの提案を基本に、ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟで歴史や方位、地形、施設などの観点から話し合いをして選択し、愛称づけをした。 ②愛称づけが安心安全や快適なまちづくりに貢献するよう美晴台内の掲示板(14箇所)や電柱(32本)、住宅のﾌｪﾝｽに愛称入りのﾏｯﾌﾟやｻｲﾝなどを取付ける。 ③掲示板には、災害停電時でも点灯すると共に街路灯を補完して防災防犯に役立ち、掲出物を見やすくして利便性を向上させるソーラー照明を取付ける。 また、地区中央を南北に縦断する通行人の一番多い道（通学路）を､｢安全安心・防災防犯・ｱﾒﾆﾃｨｰ道路｣と位置づけ、子ども達の手描き原画による住宅ﾌｪﾝｽへのｻｲﾝや、電柱ｻｲﾝの取付けを重点的に行う。
整備助成金申請予定額	198　**万円**
設計及び整備のスケジュール	①4月：　整備計画を立案し、自分達で製作、実施するもの、委託するもの、購入するものを再確認して、工程表などを作成する。 ②5月：　案内地図やｻｲﾝなどを委託もしくは自主設計する。 ③6月：　設計を受け、ｻｲﾝやｿｰﾗｰﾒｰｶｰに見積もりを依頼・決定する。 ④7～8月：　夏休みを利用し、子ども達と一緒に製作・取付けなどを行い、お披露目、完成記念イベントを夏祭りともタイアップして開催する。 ⑤9月～：　取付け済みｻｲﾝ、ｿｰﾗｰ等の効果や性能を確認、管理に役立てる。

2　創意工夫について

計画について、特に工夫した点を記入してください。 （住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ及びデザインへの配慮）	**子どもからお年寄り、多くの居住者の意見を反映させ、共に考え、合意のもと、一緒に整備できるようｿﾌﾄ、ﾊｰﾄﾞの両面から具体的な工夫を重ねた。** ①美晴台の全自治会員(約68０世帯）に｢まちｱﾝｹｰﾄ｣を実施して道の愛称募集等をした。提案総数は305に上り、決定愛称の過半は提案名から採用した。 ②自治会組長会・役員会、福寿会(老人会)、茶話会(助け合いｸﾞﾙｰﾌﾟ)、子供会などに説明をして連携を深めると共に、出前ヒアリングを公園で行い子供から大人の多様な意見を聞き、計画に反映した。 ③ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟを3回開催し、子どもからお年寄りの多数（約50名）が集まり話し

	合った。特に愛称については、現在は消失した字名や古い石碑、人の視点までを反映させた。ｻｲﾝのﾃﾞｻﾞｲﾝについても勉強し、手描きｻｲﾝの製作ﾌﾟﾛｾｽと共に、景観的な美しさ、見やすさなどの視点から、電柱や住宅のﾌｪﾝｽにｻｲﾝを掲示することとした。一方、地域の交流を促す「ｵｰﾌﾟﾝｶﾞｰﾃﾞﾝ（小布施町）」や「ﾁｬｻﾝﾎﾟｰ（西荻窪）」などを事例として「今あることを利用して、できることから」という視点も共有した。その他、多世代交流ｽﾍﾟｰｽや坂道での休憩場の必要性、空家問題など、まちの多様な課題が明らかになった。また、道の愛称の検討をきっかけに美晴台の魅力や宝、目標像まで賑やかに語ることができた。 ④「美晴台ﾀｳﾝﾆｭｰｽ」を7月に創刊して毎月定期発行し、まちかどﾄﾋﾟｯｸｽを含め道の愛称づけの状況を逐次記事とし、自治会員に回覧、周知を図った。 ⑤道の愛称入りﾏｯﾌﾟとﾋﾝﾄを子ども達(約60名)に渡し、お菓子のもらえる家を探すﾊﾛｳｲﾝｲﾍﾞﾝﾄを行った。子どもの感想は、「愛称入りﾏｯﾌﾟのお陰で家も探しやすく、楽しかった」とのことで、付添いの若い子育て世代にもｱﾋﾟｰﾙした。
整備における地域での費用や労力の負担について、特に工夫した点を記入してください。	①デザインの原画作成は、子ども達を含め手描きを基本に自らが行い、最終段階のサポートをデザイナーあるいはサイン業者に委託する。 ②案内地図、サイン、ソーラー照明の組立や取り付けは、自らの手で行う。 ③美晴台内の各専門家を募ると共に、この普請事業の意義などを近所のサイン業者に説明し協力を求めた。
整備した施設の維持管理・運営注５）計画及びその実施方法などについて、特に工夫した点を記入してください。 注５）施設を活用したまちづくりイベント等を含む。	①掲示板に取付ける愛称入りﾏｯﾌﾟやｻｲﾝ、ｿｰﾗｰ照明は、自治会の所有・管理とすることで了承を得ている。 ②愛称入りﾏｯﾌﾟやｻｲﾝ、ｿｰﾗｰ照明などは、維持管理を考慮して、耐久性のある材料や仕上げを選択し、しっかりと取付ける。 ③維持管理費や電柱サインの更新費にあてる財源確保として、ｲﾍﾞﾝﾄを主催して参加費を集めたり、お汁粉を販売するなどの方策について検討する。 ④夏祭りのお神輿巡行、防犯ﾊﾟﾄﾛｰﾙ、ﾊﾛｳｲﾝなどの行事には、愛称を配布マップに記載するなど積極的に活用し、ｺﾐｭﾆﾃｨｰの増進に貢献する。 ⑤自治会が1年おきに発行し、全会員に配布する「会員名簿」の区域図に道の愛称を記載し、周知を図ると共に活用していただき利便性を向上させる。

3　実現性について

地域（地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等）での合意形成や関係機関との調整結果の概要について記入してください。	①提案グループは、自治会の傘下にあり、組長会・役員会にも適宜報告をして了承をもらい、自治会員には「美晴台ﾀｳﾝﾆｭｰｽ」の毎月の回覧によって活動を報告し、組別の懇親会などでも説明して賛同を得ている。 ②連合町内会や近隣の4自治会に説明などを行い、特に異議は出なかった。 ③ﾌｪﾝｽｻｲﾝの取付け候補住宅に説明をし、留守宅を除き了承をいただけた。少照度のため、戸別説明は行わず、自治会の組長会・役員会で説明した。 ④港南区役所地域振興課、同土木事務所、都市整備局景観調整課には関連説明を行い、現地調査の結果も含め高い評価と賛同を得て、掲示板の占用許可手続きや電柱サインの屋外広告物条例の適用除外などの確認をした。 ⑤電柱ｻｲﾝについては東京電力と協議した結果、小型公共表示であるとの確認がなされたので、広告料（定額月払い）は免除になり、製作費のみとなった。

4　公共性について

地域のどのような課題やニーズに基づいて整備計画が作成されたのか、また整備した施設が地	**「まちｱﾝｹｰﾄ」などの結果、居住者は安全に安心して暮らせ、災害と防犯に強く、快適なまちを圧倒的に望んでいる。しかし、区域内は碁盤目状の道路で目印となるようなお店などもなく、子ども達からお年寄り、住民同士、ましてや訪問者は、戸惑うなどの課題がある。道に愛称をつけ、マップやサインを掲示板や電柱、住宅のフェンスに取付けることにより、まちが分かりやすく**

域にどのくらい貢献するか記入してください。 ※　第１次整備提案書よりも具体的に記入してください。	**なって住民のきずなが深まり、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝがとりやすくなる。整備の過程においてもﾜｰｸｼｮｯﾌﾟなどを通じてサインに子ども達の手描き原画を採用するなどにより多世代交流も実現する。** ①道の愛称づけにより、美晴台としての居住者の一体感が高まる。 ②掲示板への道の愛称入りﾏｯﾌﾟやｻｲﾝの取付けにより、訪問者が、迷わずに目的の家などに行くことができ、まち全体が理解しやすく、便利になる。 ③掲示板へのｿｰﾗｰ照明の取付けにより、夜帰宅する住民が、掲出物を読めるようになり利便性が向上する。また、防犯灯を補完して周囲を明るくし、安全性を向上させるとともに、ｿｰﾗｰのため災害停電時でも点灯して目印になる。 ④電柱ｻｲﾝには道の愛称と併せ避難場所や自治会館、学校などの情報を載せ、防災に役立て、利便性の向上にもつながる。 ⑤美晴台は、斜面あるいは台地上にあるため、バス停、駅、買物に行くにも坂の上り下りが避けられないが、道や坂の愛称により癒されたり、励まされる。

５　費用対効果について

整備コスト縮減について、特に工夫した点を記入してください。 （材料の調達方法や施行業者への発注方法など） ※　整備に要する費用や労力の負担については、「２　創意工夫について」に記入してください。	①ﾏｯﾌﾟやｻｲﾝは、耐久性からｱﾙﾐ合成板を使い、寸法や材質、仕上げなどをできるだけ統一してｺｽﾄﾀﾞｳﾝを図る。ﾃﾞｻﾞｲﾝもできるだけ自らが行うようにする。 ②電柱ｻｲﾝが屋外広告物と見なされると東京電力等に道路占用料を含み広告料として1箇所当たり2600円／月の支払が必要で、取付けは不可能となる。このためｻｲﾝが公共的な目的で屋外広告物条例の適用除外であることの確認を横浜市より得て折衝したところ小型公共表示物として広告料は免除となった。 ③ソーラー照明はメーカーによる価格差が大きいため、仕様を確かめ、実物をできる限り見て確認した上で製品を決め、見積もりを取り、ﾘｰｽﾞﾅﾌﾞﾙな金額を計上した。

６　地域まちづくりへの発展性について

整備をきっかけとして、地域コミュニティが広がる又は深まる可能性、及び地域のまちづくり活動が活発化する可能性について記入してください。	①子ども達やお年寄り、自治会員など、自らが提案した道路や坂などの愛称や原画が採用され、マップやサインに表示されることにより、改めてまち(地域)として美晴台を意識し、愛着が深まり、各活動への参加のきっかけになる。 ②掲示板にマップやサイン、ソーラー照明がつくことにより、まちのｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞとしての役割が高まり、掲示物の認知度が上がり、参画者が増える。 ③「まちアンケート」の結果やワークショップを通じて、多世代交流スペースや空家活用（対応）、坂道でのひと休みﾍﾞﾝﾁの必要性など、まちの目標が明らかになり、助け合いｸﾞﾙｰﾌﾟなどと自治会の連携による整備機運が高まる。

７　特にPRしたい点について

提案について特にPRしたい点があれば、記入してください。	①道の愛称づけをきっかけに美晴台全体を対象に「美晴台ﾀｳﾝﾆｭｰｽ」を発行、「まちｱﾝｹｰﾄ」を実施し、ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟを開催したことにより、まちの良い点や課題が明らかになり、まちづくりの関心と解決なり改善への機運が高まった。 ②自治会員、歴史の会、子ども達と、多くの意見を取り入れながら愛称づけを進める過程で歴史や人の視点などが加わり充実したものになった。またｲﾍﾞﾝﾄを通じて若い子育て世代や、現役の働く世代などとのｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝが進んだ。 ③道や坂の愛称を掲示板などにマップやサインとして表示し、ｿｰﾗｰ照明を取付けることは、安全安心、防犯防災、まちのアメニティーを高めることに貢献し、地域のﾆｰｽﾞに応える提案であり、実現が望まれていることが確認された。

記載内容について次の点を確認後、チェックボックスに✔を入れてください。

☑　記載内容は真実であり、虚偽はありません。

☑　記載内容に個人情報は含まれていません。

第３号様式（公開）

ヨコハマ市民まち普請事業

想 定 整 備 費 用 内 訳 書

※ 記入上の注意

●「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。

●「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。

●「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください。（見込みも含めて記入してください。）また、小中学校や子供会などが参加する場合は、その旨を明記してください。

主な整備項目	細　　目	数 量	単　価	計	地域住民等の参加（費用又は労力の負担等）
設計費					
①マップ、サイン設計費	（最終デザイン作成、データ化含む）	一式		300,000	住宅フェンスサイン等の原画は子ども達が作成:25人工
② まちづくりコーディネーター等への謝礼・技術料	ワークショップ開催（デザイン指導等	2回	90,000	180,000	ワークショップ参加人数(子ども含む): 25人×2回＝50人
工事費					
① 愛称マップ（掲示板・会館用）	マップ製作費	15枚（内会館用１）	7,000	105,000	取付け作業: 15箇所/2人/日→2人工
② 愛称サイン（掲示板用）	サイン製作費	14×2＝28枚	2,400	67,200	取付け作業: 14箇所/2人/日→4人工
③ 愛称サイン（住宅フェンス用）	サイン製作費	15枚	3,600	54,000	取付け作業: 15箇所/2人/日→2人工
④ 愛称サイン（電柱取付け用）	サインの製作、取付け、管理費	32本(小型)	4,130	132,160	立会い作業: 16箇所/2人/日→4人工
⑤ ソーラー照明（掲示板用）	ソーラーパネル（LED照明一体型）	14セット	55,000	770,000	金具加工、取付け作業: 7箇所/3人/日→6人工
⑥ サイン等取付け関連掲示板改良費	アクリル板、金具等材料費	4箇所	10,000	40,000	改良作業: 2箇所/2人/日→4人工
⑦サイン等取付金具、ビス等	・マップ、サイン ・ソーラー照明	58枚 14セット	300 3,000	17,400 42,000	
活動費（限度額30万円）					
① 用紙等事務用品	プリンター用インク、絵の具、用紙等	一式		30,000	
② 資料等のコピー又は印刷費		一式		60,000	
③ 会場使用料又は機材等賃借料	プロジェクター賃借料含む	一式		30,000	
合　計				1,827,760	
消費税(8%)				146,220	
総 計				1,973,980	

1．位置図(美晴台風景)　:美晴台の道に愛称をつける会

美晴台地区の概要

住　所:　横浜市港南区上永谷3丁目
最寄駅:　市営地下鉄ブルーライン
　　　　上永谷駅下車　　徒歩 11～20分
バ　ス:　上永谷中学校前(上大岡～芹が谷)
ミニバス:　美晴台(上永谷～東戸塚)
地形等:　標高約 50m 前後の南と北の斜面地と中央の台地からなり、西に富士山を望む。面積約 100,000㎡で閑静な約 700 戸の戸建住宅地である。
歴史等:　昭和35年頃に開発され、半世紀が経過して住宅の2/3以上が建替わった。居住者は、3世代目が中心になりつつあり、高齢化が進んでいる一方、子どもの姿も多く、自治会やボランティア活動は活発である。

① 美晴台公園(ゼロ番地公園)

② まんなか通り(学童通り)

③ みはる台通り

(公園通り)

④ みなみ大通り(てっぺん通り)

⑤ ふじ見坂からの朝焼けの富士山

☆美晴台の安全安心・防災防犯の向上と、良好なアメニティの実現を目指して☆

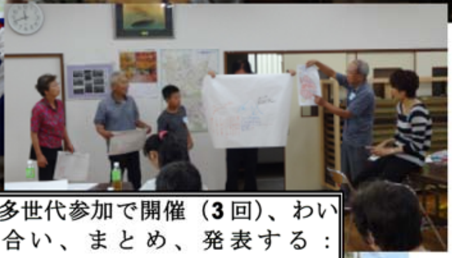
2. 平面図ー1（美晴台活動状況図）　:美晴台の道に愛称をつける会

（1）1次コンテストに臨み堂々と説明、選考される：6月

（4）愛称を広く募集するため「まちアンケート」を約680世帯に実施し、300以上の提案が集まる：7月

（7）まちづくりびと全員集合に参加し、経過を発表する：9月

（2）コアメンバー会議を開催（11回）、いつも熱心に討議する：6～12月



（6）ワークショップを多世代参加で開催（3回）、わいわいと楽しく話し合い、まとめ、発表する：8・9・10月

（9）皆さんの総意による愛称（案）がまとまり、自治会会員に回覧する：11月

（3）美晴台タウンニュース創刊、毎月発行（既5号）、まち情報を伝える：6～12月

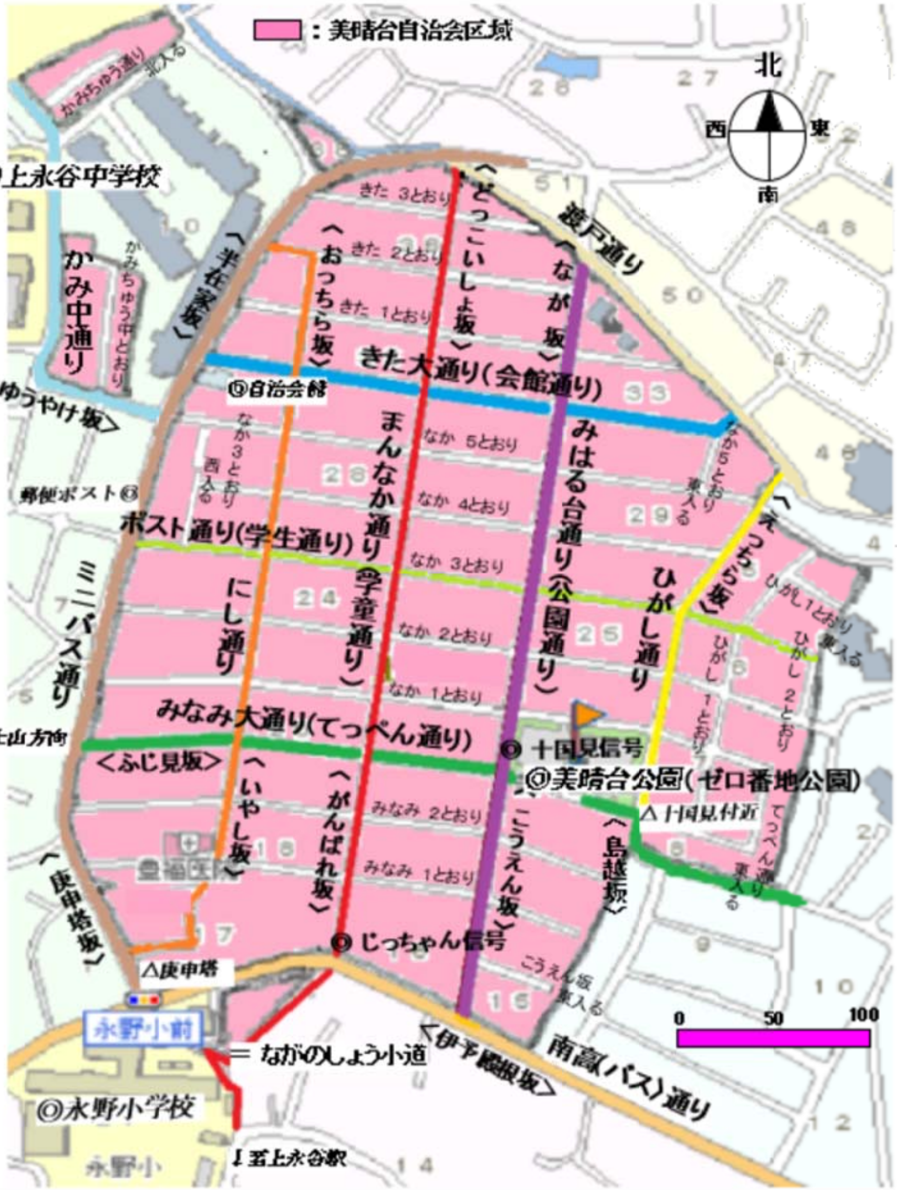
（5）美晴台夏祭りに1次コンテストの発表パネルを掲示する：8月

（8）ハロウインでお菓子のもらえる家を愛称マップのヒントで探すというイベントを実施し、子ども達60人は大喜び：10月

☆美晴台の安全安心・防災防犯の向上と、良好なアメニティの実現を目指して☆

3．平面図－2（美晴台内道路の愛称図）：美晴台の道に愛称をつける会

美晴台内道路の愛称図



☆美晴台の安全安心・防災防犯の向上と、良好なアメニティの実現を目指して☆

美晴台内道路の愛称づけ分類

	歴史	方位	地形	施設	感覚	位置	景観	人	その他
通り	渡戸通り (わたど)	ひがし通り		かみ中通り		まんなか通り		(学童通り)	ミニバス通り
		みなみ大通り	(てっぺん通り)	南高(バス)通り		なか1～5とおり			
		にし通り		ポスト通り				(学生通り)	
		きた大通り		(会館通り)		こうえん坂東入る			
		ひがし1～2とおり				てっぺん通り東入る	＊左欄は、行き止まりあるいは短い等の細街路です。		
		みなみ1～2とおり				ひがし1とおり 東入る			
		きた1～3とおり				なか5とおり 東入る			
			みはる台通り	(公園通り)		なか3とおり 西入る			
小道				ながのしょう小道		かみちゅう中とおり			
坂	庚申塔坂 (こうしんとう)		なが坂	こうえん坂	えっちら坂		ふじ見坂		
	半在家坂 (はんざいけ)				おっちら坂		ゆうやけ坂		
	島越坂 (しまこし)				いやし坂				
	伊予殿根坂 (いよどね)				がんばれ坂				
					どっこいしょ坂				
信号	十国見信号 (じゅっこくみ)							じっちゃん信号	
公園	ゼロ番地公園								

美晴台内道路の愛称と由来

	坂(南)	愛称 主(メイン)	愛称 副(サブ)	坂(北・西)	備　考(愛称の由来等)
南北道路 ①	＜えっちら坂＞	ひがし通り			・一番東側の道路で、北の谷戸にあるドラッグストアへの道で傾斜があります。
②	＜こうえん坂＞	みはる台通り	(公園通り)	＜なが坂＞	・美晴台の大半は、中央の台地と南北の斜面からなり、ほぼ中央に美晴台公園があります。
③	＜がんばれ坂＞	まんなか通り	(学童通り)	＜どっこいしょ坂＞	・永野小学校への学童と、上永谷駅あるいはバス利用者の大方がこの道を通ります。
(小道)		ながのしょう小道			・永野小学校や上永谷駅に至る利用者の多い、細く(約2m)、階段もある歩行者専用道です。
④	＜いやし坂＞	にし通り		＜おっちら坂＞	・いやし坂はがんばり坂より緩やかで途中に内科医院があり、利用者が多い道です。
					・一番西側の道路で自治会館に通じ、北方向はちょっときつい坂です。
		かみ中通り		＜ゆうやけ坂＞	・上永谷中学校へのアプローチ道路で、西方向への上り坂で夕日がきれいです。
東西道路 ①	＜島越坂＞	みなみ大通り	(てっぺん通り)	＜ふじ見坂＞	・島越は地名としてはなくなりましたが、美晴台の字名のひとつでした。西方向に四季を通じ富士山が見事に見えます。台地の頂上にあたります。
②		ポスト通り	(学生通り)		・上永谷中学校生の通学路として利用され、途中に郵便ポストがあります。
③		きた大通り	(会館通り)		・クラブ活動やいろいろな行事などに使用されている自治会館があります。
外周道路 ①	＜伊予殿根坂＞	南高(バス)通り			・伊予殿根は地名としてはなくなりましたが、美晴台の字名のひとつでした。
②	＜庚申塔坂＞	ミニバス通り		＜半在家坂＞	・この道路の先、約1kmに横浜南高等学校があり、バスが走っています。
③		渡戸通り			・庚申塔は、美晴台に唯一残る江戸時代の石塔で部落の道しるべでした。
細街路 ①		ひがし1～2とおり	こうえん坂 東入る	＊左欄は行き止まりあるいは短い等の細街路です。	・ミニ(小型)バスが上永谷駅、東戸塚駅間に運行され、便利です。
②		みなみ1～2とおり	てっぺん通り 東入る		・半在家、渡戸は地名としてはなくなりましたが、美晴台の字名のひとつでした。
③		きた1～3とおり	ひがしとおり 東入る		
④		なか1～5とおり	なか5とおり 東入る		
⑤		かみちゅう中とおり	なか3とおり 西入る		
交通信号 ①		十国見信号			・造成前の丘陵だった頃、この辺が一番高く、昔は十国が見えたと伝えられています。
②		じっちゃん信号			・通学時には毎日、信号前におじさんが立ち学童を見守っています。
公園名		ゼロ番地公園			・公園は枝番のない空地に住民の手作りで発足し、長い間ゼロ番地と呼ばれ、現在も呼ぶ方がいられます。

4. 完成予想図（マップ等取付け掲示板、電柱サイン、フェンスサイン等） ：美晴台の道に愛称をつける会

掲示板取付け等各種サイン配置図

☆ 掲示板取付けサインモデル

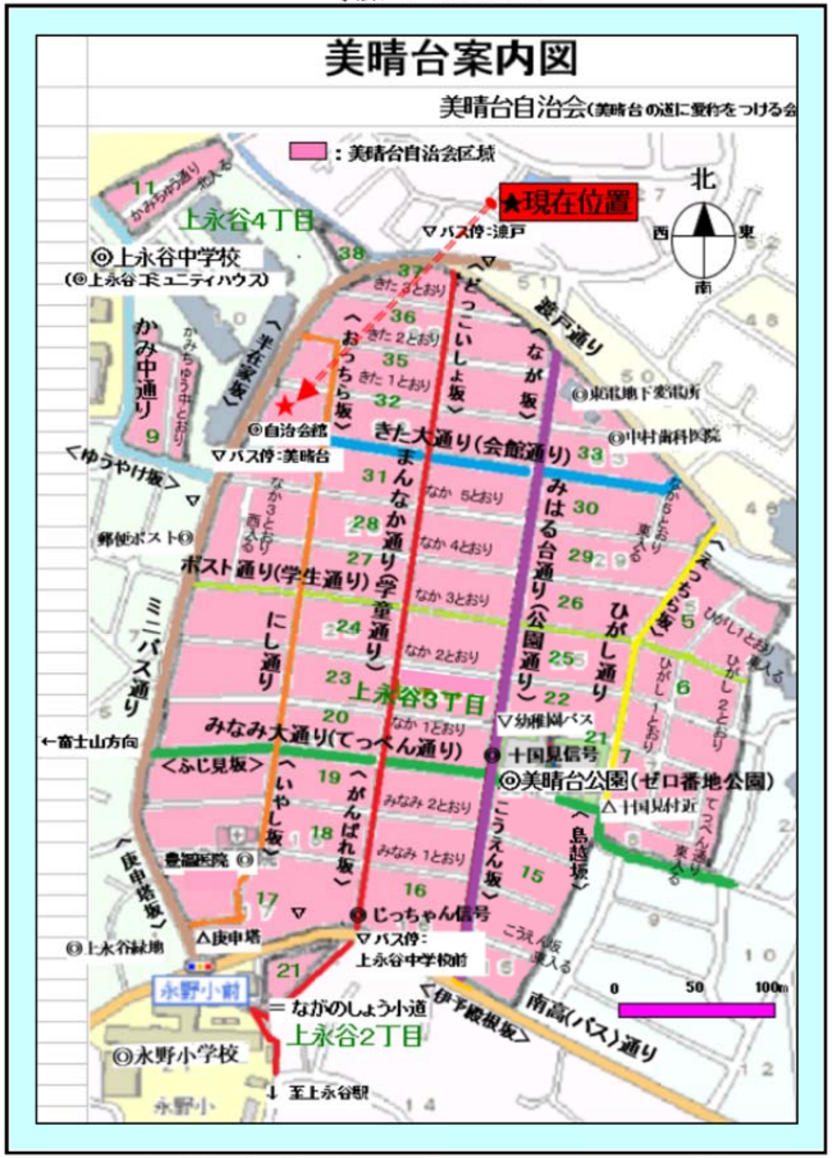
☆ 電柱サインモデル

☆ 住宅フェンスサインモデル

☆美晴台の安全安心・防災防犯の向上と、良好なアメニティの実現を目指して☆

5. サインデザイン例図 :美晴台の道に愛称をつける会

寸法：W 420×H 600



☆ 掲示板取付け愛称マップデザイン例

住居表示、道等の愛称、学校、方位、現在位置等

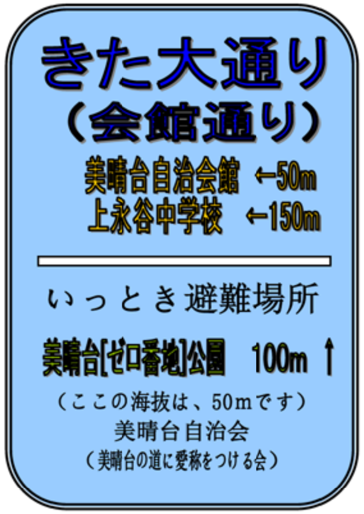
（＊ 外枠色は道別にカラーコディネイト予定）

寸法：W 420×H 600

☆ フェンスサインデザイン例

（＊ 絵は子ども作成原画による）

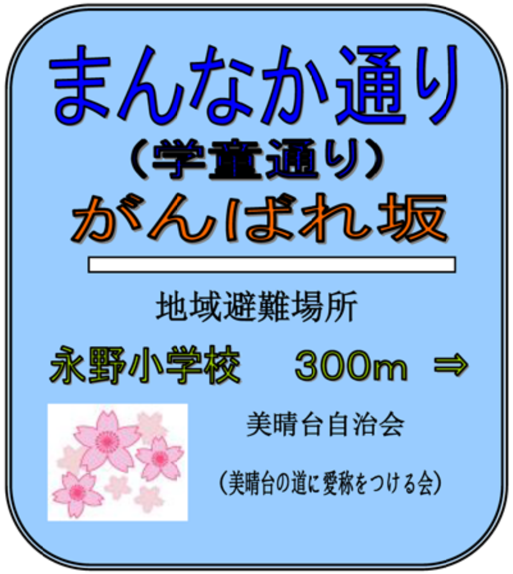
寸法：W 330×H 600



☆ 愛称サイン例

W 150×H 420

寸法：W 330×H 450



寸法：W 330×H 400

☆ 電柱サインデザイン例（道等の愛称、施設案内、避難場所等）

☆美晴台の安全安心･防災防犯の向上と、良好なアメニティの実現を目指して☆